挨拶と四季の心

学校便り第４号
令和８年９月２８日
福井市灯明寺中学校

夏休み中から準備を始めた学校祭。学校祭に向けてエネルギー全開で、皆さん全員が一人一人達成感を感じる学校祭になりましたか。本校教職員は、「一瞬を一生に　～唯一無二の青春を～ 」のテーマの元、単に学校祭を成功させようといった子ども目線だけの目標でなく、灯明寺中の学校教育目標「自主的で活力に満ち、心豊かで誠実な生徒の育成」、灯明寺中のめざす生徒像を意識して、「自主・自律」「自ら考え、判断し、行動する生徒（失敗を恐れずチャレンジする）」「他を理解し、新たな価値を生み出す生徒（自分と仲間を大切にする）」「社会や地域の担い手として貢献する生徒（感謝の心を育てる）」を確認しながら、この行事で、縦割り活動を活用し、生徒を、クラスを、学年を、そして学校全体をどう成長させていくのかという見通しを持って、生徒達とともに、学校祭に向けて取り組んできました。生徒の皆さんは、その先生方一人一人の思いを受け取り、感じ取り、この学校祭を通して、成長できましたか。

学校祭後は、一学期のまとめの時期になります。この切り替えはとても大事ですので、授業を大事にしながら、活力の方向転換をしましょう。８月後半、９月、10 月は「パワー爆発学校祭」「秋季地区新人生大会」「2 年生職場体験」「１年生校外学習」「3 年生の学力診断テストに向けた授業等でのサポート」に視点をあてて、「１学期の総まとめ」として下さい。君たちの活躍を大いに期待しています。

体育祭（第一部）

９月７日（月）、体育祭に先立ち、体育祭第１部を実施しました。本番の一部種目を前倒しして行い、１年生はクラス対抗リレー、２年生は学年種目「色水リレー」、さらに全学年で色別対抗の綱引きに取り組みました。

グラウンドには、仲間を応援する大きな声や歓声が響きました。リレーでは最後まで全力で走り切る姿、色水リレーでは仲間と息を合わせて競技を楽しむ姿、綱引きでは各色が心を一つにして力いっぱい綱を引く姿が見られました。綱引きは体育祭第１部で各色２試合ずつ行い、その結果も本番の得点に加算されます。

競技後には応援練習も行い、本番に向けて各色の気持ちがさらに高まる一日となりました。






文化祭「一瞬を一生に　～唯一無二の青春を～」

９月１０日（木）、令和８年度文化祭を開催しました。今年度の学校祭テーマは「一瞬を一生に　～唯一無二の青春を～」。学級や学年の枠を越えて絆を深め、一人ひとりが自分の役割と責任を自覚しながら、仲間と共に創り上げることを目指して準備を進めてきました。

当日は、色看板披露とオープニングに続き、吹奏楽部の演奏で文化祭が華やかにスタートしました。体育館いっぱいに響く演奏に続いて行われた「灯中ソーラン」では、各色が練習を重ねてきた力強い演技を披露しました。動きのそろった迫力ある演技や、色ごとの工夫を凝らした表現に、会場から大きな拍手が送られました。また、「みんなのステージ」では、仲間と考えたダンスやパフォーマンスなどが次々と発表され、生徒の個性やアイデアが輝く時間となりました。文化祭では、吹奏楽部発表、灯中ソーラン、みんなのステージなど、さまざまな発表の場が設けられました。校内にも、生徒たちの手による多彩な作品が並びました。１年生は各色のテーマを生かした「階段空間アート」を制作し、普段の校舎を鮮やかな展示空間へと変身させました。２年生は、色やテーマを象徴する立体作品を制作。細部まで工夫された作品から、仲間と試行錯誤しながら完成させた様子が伝わってきました。

午後には、１・２年生が企画したレクリエーションを校内各所で実施しました。企画から準備、当日の運営まで生徒自身が関わり、参加する側だけでなく、迎える側として仲間を楽しませようとする姿も多く見られました。

準備の中では、思うように進まないことや意見がぶつかる場面もあったことでしょう。それでも、仲間と相談し、役割を果たし、一つのものを完成させた経験そのものが大きな学びです。一人ひとりの「一瞬」が重なって、まさに「一生」の記憶に残る、笑顔と活気にあふれた文化祭となりました。















体育祭「一瞬を一生に　～唯一無二の青春を～」

９月１２日（土）、令和８年度体育祭を開催しました。今年度は赤・青・黄・緑・桃の５色に分かれ、学年を越えて力を合わせて競技や応援に取り組みました。体育祭では、生徒一人ひとりが主体的に活動し、仲間と協力しながら責任を果たすことを大切にしています。

競技は、玉入れ、クラス対抗リレー、綱引き、学年種目、色別対抗リレーなど、さまざまな種目で熱戦が繰り広げられました。 仲間のために全力で走る姿、声を掛け合いながら力を合わせる姿、最後まであきらめずに競技する姿が随所に見られ、グラウンドには大きな声援が響きました。学年種目でも、仲間とのタイミングや協力が求められる場面が多く、各学級のまとまりが感じられました。

また、体育祭を彩ったのが、各色の色看板と応援です。グラウンドには、各色の思いを込めて制作した個性豊かな色看板が並びました。午後の応援合戦では、３年生を中心に練習を重ねてきた成果を発揮し、動きや掛け声をそろえながら、それぞれの色の特色を生かした力強い応援を披露しました。応援や色看板も体育祭の表彰対象となっており、競技だけではない多くの場面で生徒一人ひとりが力を発揮しました。

体育祭の運営にも、体育委員会や放送委員会、応援団、級長など、多くの生徒が関わりました。選手として競技するだけでなく、進行や招集、用具準備など、それぞれが自分の役割を果たすことで、体育祭全体を支えました。

閉会後には、３年生で記念撮影を行いました。勝敗を越えて、仲間と一緒に笑顔で一日を終える姿から、学校祭テーマである「一瞬を一生に」の言葉どおり、心に残る時間になったことが伝わってきました。文化祭から続く学校祭を通して、学級・学年・色の仲間との絆をさらに深める、大きな成長の機会となりました。









